

第133回根室管内景気動向調査

29年1~3月期実績・29年4~6月期見通し

全業種総合

～管内全体の売上・収益DIは依然低調～



DIの推移	売上DI			収益DI		
	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し
管内総合	△36.2	△29.4	△27.3	△31.9	△32.2	△27.3

業種別	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し
製造業	△61.1	△40.0	△25.0	△38.9	△40.0	△20.0
卸売業	△12.5	△18.8	△12.5	± 0.0	△18.8	+ 6.3
小売業	△37.5	△40.7	△35.2	△33.9	△44.4	△37.0
サービス業	△55.2	△25.8	△16.1	△51.7	△22.6	△29.0
建設業	△ 4.5	△ 4.5	△36.4	△18.2	△18.2	△31.8

地区別	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し
根室市	△43.1	△40.0	△20.0	△37.9	△43.3	△23.3
管内4町	△31.3	△21.7	△32.5	△27.7	△24.1	△30.1
(中標津町)	△22.6	△40.0	△30.0	△19.4	△36.7	△20.0
(羅臼町)	△75.0	△22.2	△50.0	△65.0	△22.2	△44.4
(標津町)	△66.7	△18.2	△54.5	△66.7	△36.4	△54.5
(別海町)	+ 8.7	± 0.0	△12.5	+ 8.7	△ 4.2	△20.8

実績TOPICS

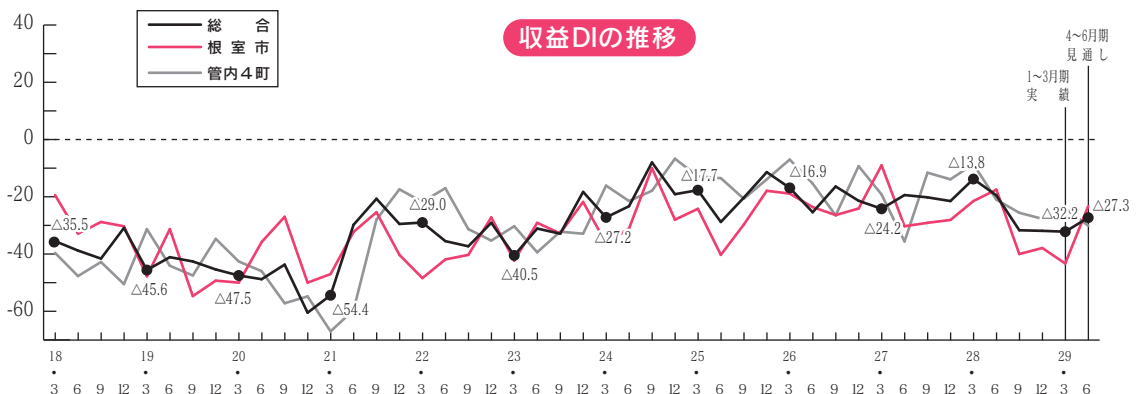
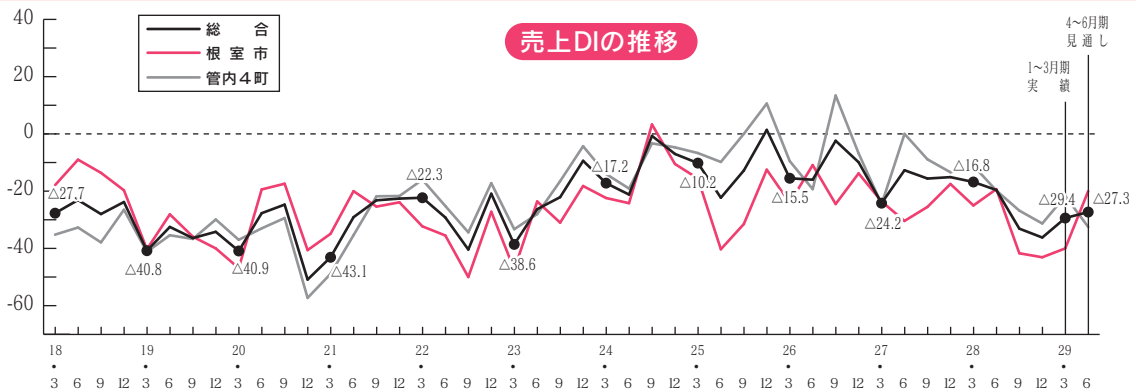
- 根室管内総合は、売上・収益DIともに全業種マイナス域にあり景況感は低調に推移。
- 業種別では、卸売業、小売業の売上・収益DIが前期比マイナス幅を拡大。サービス業は売上・収益ともに前期比改善するも依然低調。
- 地区別では、羅臼町、標津町がサービス・建設業に持ち直しの動きがあり、売上・収益DIともに前期比改善。中標津町は、小売業、建設業の景況感後退を背景に売上・収益DIともに前期比悪化。

見通しTOPICS

- 根室管内総合は売上・収益DIともにマイナス幅をやや縮小する見通しにあるものの、依然低調な見通し。
- 業種別では、卸売業が景況感を持ち直す見通しにあり、収益DIはプラスへ転じる。建設業は、売上・収益DIともに悪化の見通し。
- 地区別では、根室市が小売業、サービス業の景況感が改善される見通しにあり、売上・収益DIともにマイナス幅縮小の見通し。

1~3月管内全業種総合特徴

- 水産業は、ホタテの水揚げ量が前年比減少しており、単価は高値推移となっていますが金額も同減少しています。コマイは大幅に落ち込んだ前年からはやや回復しておりますが、スケトウダラの水揚げ量は低調となっています。
- 酪農は、昨夏の悪天候の影響による飼料の品質低下等を要因に生乳生産が前年比減少しています。
- 小売業は、ネット通販の普及や節約志向により、衣料品を中心に景況感は低調となっています。次期の見通しも、飲食料品関連の景況感悪化等、低調に推移する見通しとなっています。
- 建設業は、農業関連事業や道路整備により、景況感は横ばいとなっていますが、次期の見通しは住宅等民間受注の減少を背景に低調となっています。





DIの推移	売上DI			収益DI		
	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し
製造業全体	△61.1	△40.0	△25.0	△38.9	△40.0	△20.0

業種別

水産加工	△62.5	△25.0	△37.5	△62.5	△25.0	△25.0
木材・食品一般加工 (農畜産加工含む)	△80.0	△71.4	± 0.0	△20.0	△57.1	± 0.0
印刷	△25.0	△25.0	△50.0	± 0.0	△50.0	△50.0
生コン・セメント 造船・漁網・土石	△100.0	± 0.0	± 0.0	△100.0	± 0.0	± 0.0

地区別

根室市	△100.0	△42.9	△14.3	△42.9	△42.9	△28.6
管内4町	△36.4	△38.5	△30.8	△36.4	△38.5	△15.4

実績TOPICS

- 製造業全体では、売上DIは前期比改善、収益DIはややマイナス幅を拡大。
- 水産加工は、売上・収益DIともに前期比改善するも、ホタテやスケトウダラ等の主要魚種の低迷から、依然低調。
- 木材・食品一般加工は、売上・収益DIともに低調に推移。
- 地区別では根室市の売上DIが前期比改善しているものの、根室市、管内4町ともに売上・収益DIは低調に推移。

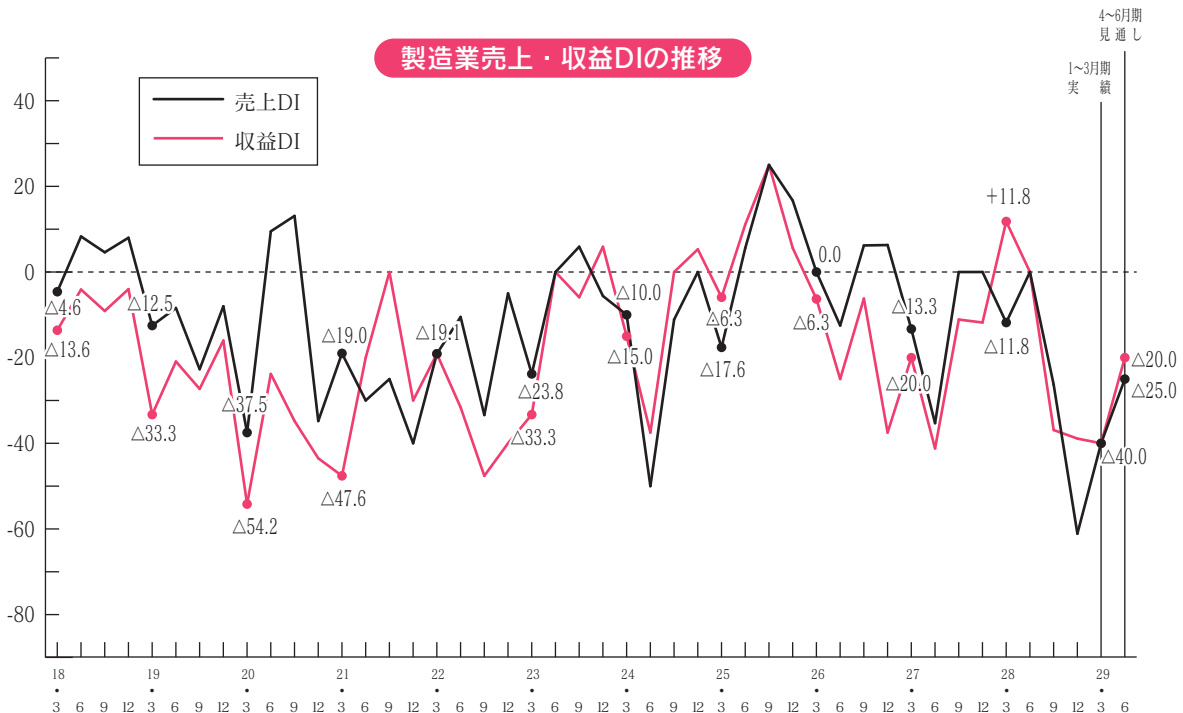
見通しTOPICS

- 製造業全体では、売上DI、収益DIともに改善の見通しとなるも依然低調。
- 業種別では水産加工、印刷が売上DI悪化の見通し。木材・食品一般加工は売上・収益DIともに改善の見通し。
- 地区別では、根室市、管内4町の売上・収益DIともにマイナス幅を縮小する見通し。

1~3月製造業特徴

- 水産加工業は、ホタテの生育状況が芳しくなく、水揚げ数量・金額ともに前年比減少し、海外需要の低迷もあり、稼働は低調となっています。スケトウダラの水揚げも低調であり、代替魚種によるカバーもできず、低調となっています。
- 木材・食品一般加工は、原料価格の高騰や水揚げ不振の影響を受けて、景況感は低調に推移しています。
- 印刷業は、繁忙期が過ぎ、電子化やインターネットの普及による内製化から需要低迷し、景況感は低調となっています。

製造業売上・収益DIの推移



卸売業

卸売業

～売上DIはやや後退、収益DIは悪化～

DIの推移	売上DI			収益DI		
	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し
卸売業全体	△12.5	△18.8	△12.5	± 0.0	△18.8	+ 6.3
業種別						
水産物卸	△36.4	△36.4	△18.2	△18.2	△27.3	+ 9.1
食品・建材・家畜卸	+40.0	+20.0	± 0.0	+40.0	± 0.0	± 0.0
地区別						
根室市	△ 8.3	△ 8.3	+ 8.3	+ 8.3	± 0.0	+33.3
管内4町	△25.0	△50.0	△75.0	△25.0	△75.0	△75.0

実績TOPICS

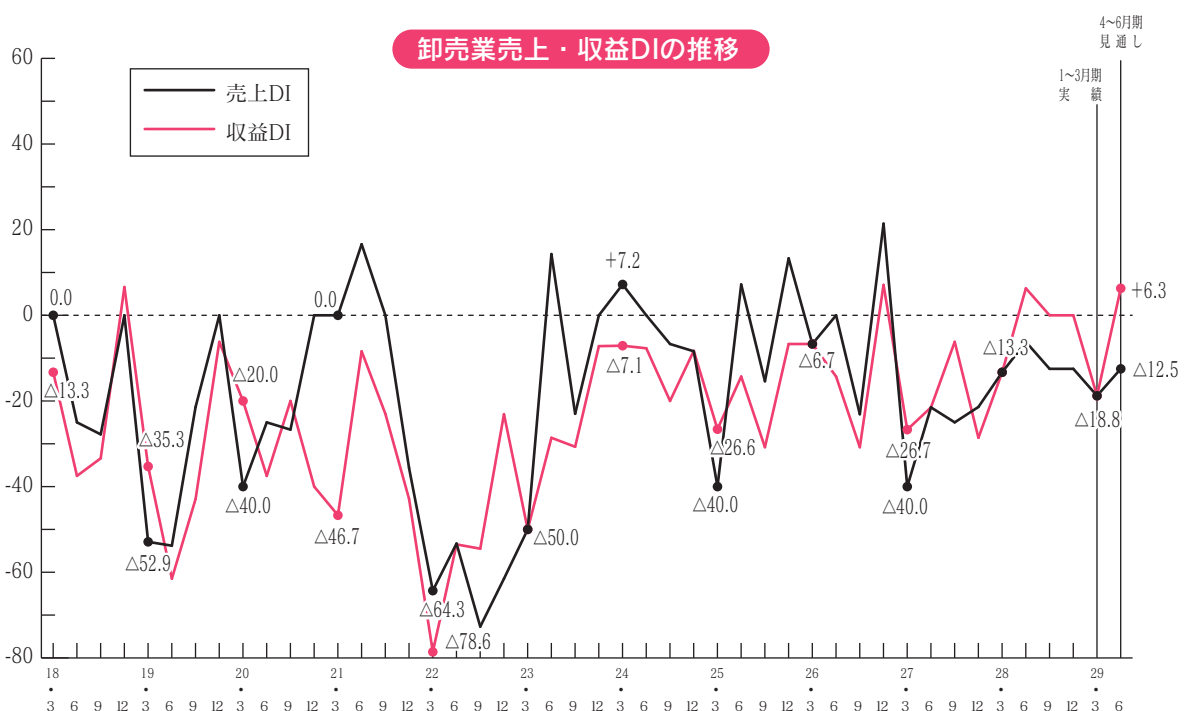
- 卸売業全体では、売上DIはマイナス幅を拡大し、収益DIは±0からマイナスへ悪化。
- 業種別では、水産物卸は水揚げ不振の影響を受けて、売上・収益DIともに低調。食品・建材・家畜卸は売上・収益DIともにプラス幅を縮小するも好調を維持。
- 地区別では、管内4町の売上・収益DIが大幅に悪化。

見通しTOPICS

- 卸売業全体では売上DIはやや持ち直し、収益DIはプラスへ転じる見通し。
- 業種別では、水産物卸が売上・収益DIともに改善。
- 地区別では、根室市が売上・収益DIともにプラスへ転じ、景況感は改善の見通し。管内4町は依然低調に推移する見通し。

1~3月卸売業特徴

- 水産物卸売業は、ホタテやスケトウダラ等の主要魚種の水揚げ低迷の影響を受けて、景況は低調となっています。一方で、見通しは収益DIがプラスへ転じ、改善の見通しとなっています。
- 食品・建材・家畜卸では、仕入価格が高騰する中で、販売価格への転嫁が容易ではなく、景況感は停滞している状況です。
- 経営上の問題点においても、深刻な原料不足を背景に前期に続き「販売商品の不足」が1位となっています。



小売業

～売上・収益DIともに依然低調～



小売業

実績TOPICS

- 小売業全体では、売上・収益DIともに前期比マイナス幅を拡大。
- 業種別では、衣料品は売上・収益DIともに前期比大幅悪化。医薬品・化粧品は売上・収益DIともに悪化。飲食料品は売上・収益DIともに同改善。一方、飲食店は売上・収益DIともに悪化。
- 地区別では、管内4町は売上・収益DIともにマイナス幅を縮小するも、中標津町は売上・収益DIともに大幅悪化。

見通しTOPICS

- 小売業全体では売上・収益DIともに今期比マイナス幅を縮小する見通し。
- 業種別では家電や医薬品・化粧品等、今期比改善する見通しの業種はあるものの、家電の売上DIを除いては総じてマイナス域にあり、低調な見通し。
- 地区別では、根室市の売上・収益DIは改善する見通し。管内4町は今期比マイナス幅を拡大し低調に推移する見通し。

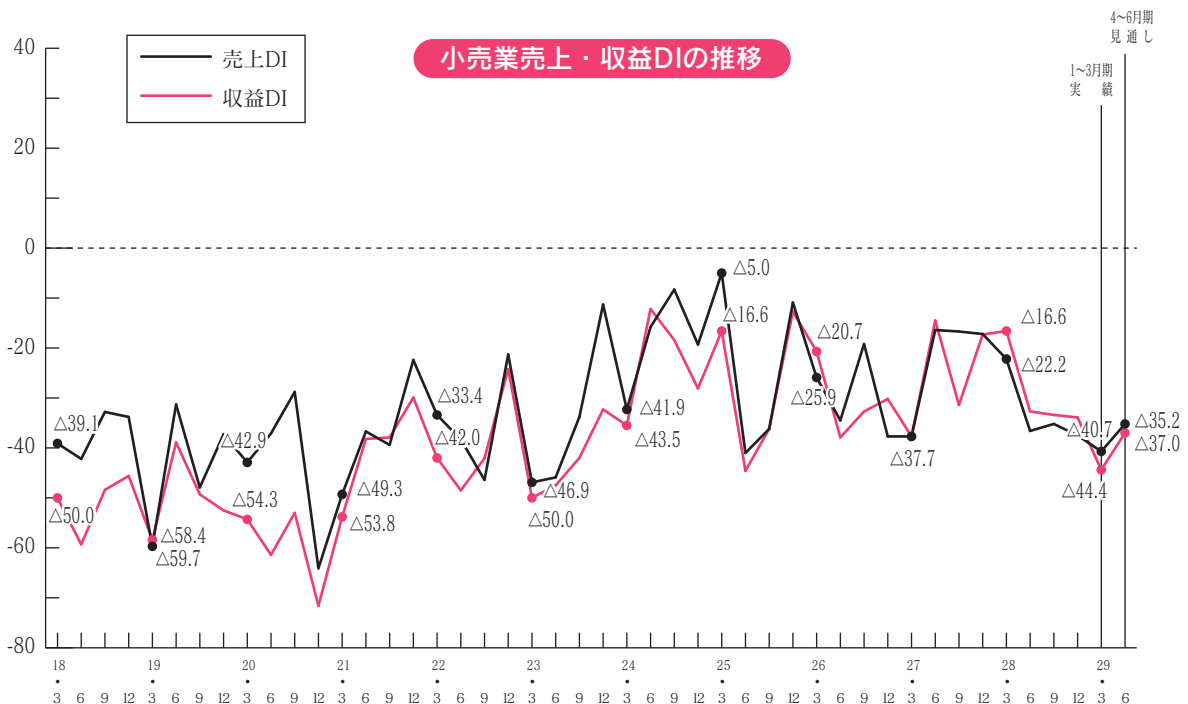
DIの推移	売上DI			収益DI		
	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し
小売業全体	△37.5	△40.7	△35.2	△33.9	△44.4	△37.0

業種別	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し
衣料品	△25.0	△100.0	△50.0	△25.0	△100.0	△50.0
飲食料品	△43.8	± 0.0	△46.7	△56.3	△26.7	△46.7
飲食店	+33.3	△20.0	△20.0	+16.7	△20.0	△20.0
自動・自転車・スポーツ	△66.7	△80.0	△40.0	△66.7	△80.0	△40.0
家具・DIY	△20.0	△60.0	△20.0	+40.0	△40.0	△20.0
家電	△40.0	△60.0	± 0.0	△60.0	△60.0	△20.0
医薬品・化粧品	± 0.0	△66.7	△33.3	+33.3	△66.7	△33.3
書籍・文具	△50.0	△75.0	△75.0	△50.0	△75.0	△75.0
燃料	△83.3	△14.3	△28.6	△83.3	△28.6	△42.9

地区別	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し
根室市	△23.8	△40.9	△18.2	△28.6	△59.1	△27.3
管内4町	△45.7	△40.6	△46.9	△37.1	△34.4	△43.8
うち中標津町	△26.7	△69.2	△46.2	△ 6.7	△46.2	△38.5

1~3月小売業特徴

- 高齢化や人口流出に加えて、大型店との価格競争や主要産業である水産業の水揚げ不振の影響を受けて、消費マインドは低迷しており、景況感は低調に推移しています。
- ネット販売やふるさと納税返礼品など、販売方法が多様化する中で、同業他社との差別化を図る動きが強まっていますが、景況感を持ち直すまでには至っていません。
- 経営上の問題点についても前期同様、「売上の停滞・減少」や「競争の激化」が上位を占めています。



サービス業

～売上・収益DIともに依然として低調～



DIの推移	売上DI			収益DI		
	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し
サービス業全体	△55.2	△25.8	△22.6	△51.7	△22.6	△29.0
業種別						
旅館・ホテル	△40.0	△25.0	△25.0	△40.0	△25.0	△25.0
洗濯・理美容	△100.0	△25.0	△50.0	△100.0	△50.0	△25.0
自動車整備	△40.0	± 0.0	± 0.0	△60.0	0.0	△12.5
運輸	△72.7	△45.5	△27.3	△54.5	△27.3	△45.5
医療・その他	△20.0	△25.0	△25.0	△20.0	△25.0	△25.0
地区別						
根室市	△75.0	△53.8	△46.2	△83.3	△46.2	△30.8
管内4町	△41.2	△ 5.6	△ 5.6	△29.4	△ 5.6	△27.8

実績TOPICS

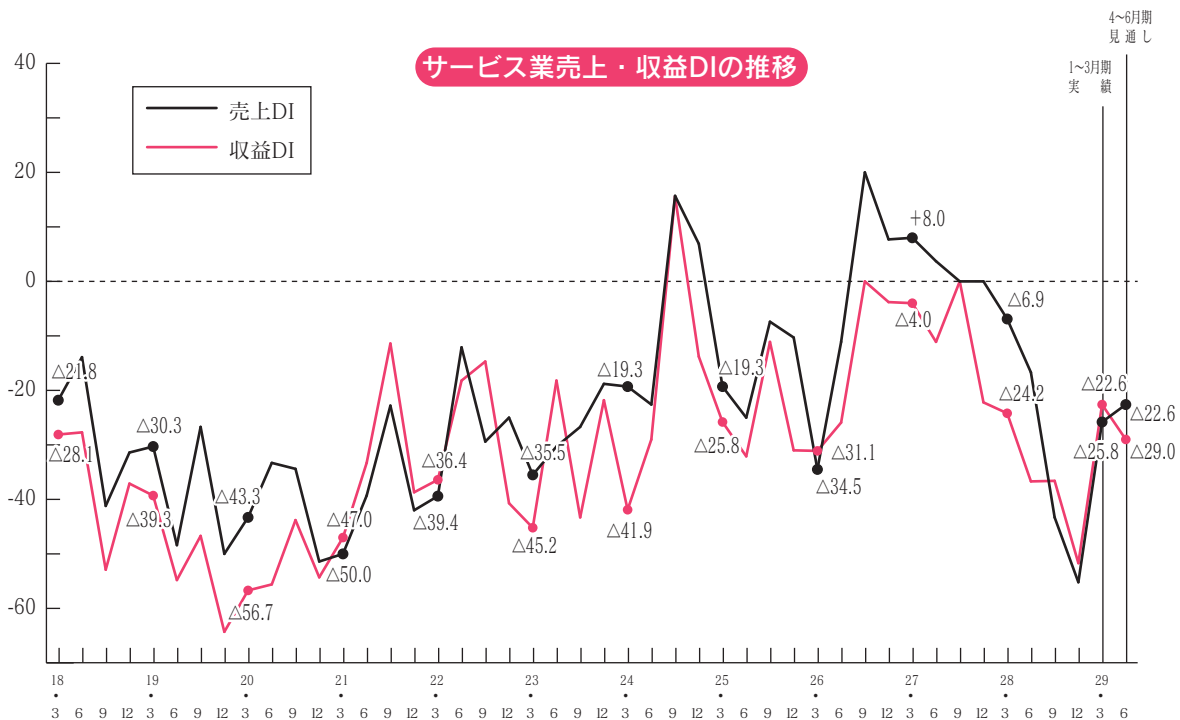
- サービス業全体では売上・収益DIは前期比改善するも、低調。
- 業種別では医療・その他を除き、売上・収益DIは前期比改善。
- 地区別では、根室市、管内4町の売上・収益DIともに前期比改善。

見通しTOPICS

- サービス業全体では売上DIは今期比マイナス幅を縮小、収益DIはマイナス幅を拡大する見通し。
- 業種別では、旅館・ホテル業は、売上・収益DIともに横ばいの見通し。自動車整備業、運輸業は収益DIが悪化する見通し。
- 地区別では、根室市は売上・収益DIともにマイナス幅を縮小。管内4町は収益DIが悪化する見通し。

1~3月サービス業特徴

- 旅館・ホテル業は交通網の復旧による国内外の来訪者が回復し、売上・収益DIともに前期比改善していますが、景況感は依然低調に推移しています。
- 運輸業は水産業の水揚げ不振や、人材不足を背景に売上・収益ともに景況感は悪化しています。
- 経営上の問題点については、前期同様、「売上の停滞・減少」、「人手不足」が上位となっています。



DIの推移	売上DI			収益DI		
	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し
建設業全体	△4.5	△4.5	△36.4	△18.2	△18.2	△31.8
受注分野別						
官公庁受注	+12.5	+13.3	△33.3	△6.3	±0.0	△20.0
民間受注	△50.0	△42.9	△42.9	△50.0	△57.1	△57.1
工事種類別						
建築工事	△33.3	±0.0	△22.2	△33.3	△22.2	△33.3
土木工事	+22.2	±0.0	△44.4	±0.0	△11.1	△11.1
設備工事・その他	±0.0	△25.0	△50.0	△25.0	△25.0	△75.0
地区別						
根室市	△50.0	△66.7	△83.3	△66.7	△66.7	△100.0
管内4町	+12.5	+18.8	△18.8	±0.0	±0.0	△6.3

実績TOPICS

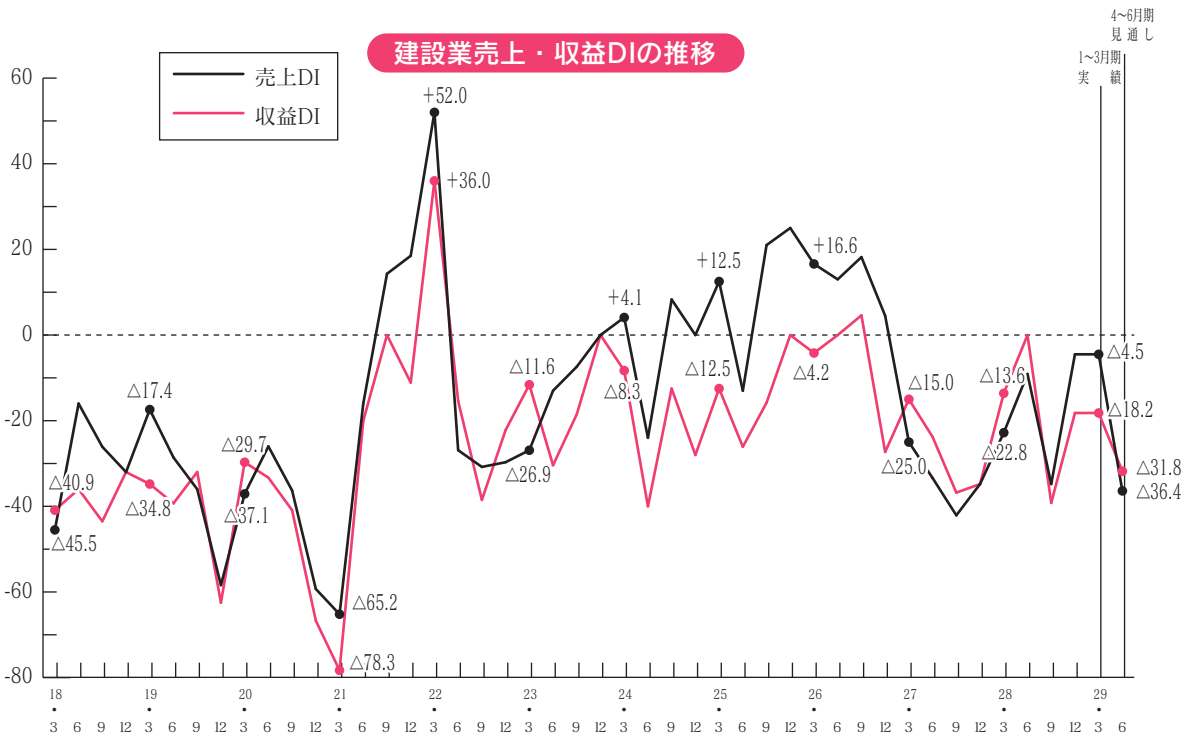
- 建設業全体では、売上・収益DIともに前期比横ばいとなり、やや低調。
- 受注分野別では、官公庁受注の売上DIがプラスを維持する一方、民間受注は売上・収益DIともに低調。
- 工事種類別では、建築工事の売上・収益DIが改善。土木工事は売上・収益DIが悪化。
- 地区別では、管内4町の売上DIはプラスを維持。根室市は売上・収益DIともに低調に推移。

見通しTOPICS

- 全体では売上・収益DIともに悪化し、低調な見通し。
- 受注分野別では、官公庁受注が売上・収益DIともに悪化の見通し。
- 工事種類別では各工事全て低調な見通し。

1~3月建設業特徴

- 農業関連事業や道路整備工事は堅調に推移しているものの、民間受注工事の景況感は前期から見通しまで低調に推移しています。
- 新築工事案件の減少や人材の不足・高齢化による受注減少から見通しは低調に推移しています。
- 経営上の問題点では、「受注・施工高の停滞・減少」を抜き、「人手不足」が1位となっており、受注機会のロスによる売上の減少等、景況感への影響も大きくなっています。



経営上の問題点 (平成29年3月調査)

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業
1位	売上・受注の 停滞・減少	販売商品の 不足	売上 の 停滞・減少	売上 の 停滞・減少	人手不足
2位	原材料の 入手難	売上 の 停滞・減少	競争の激化	人手不足	受注・施工高の 停滞・減少
3位	原材料高	人手不足	人手不足	人件費以外の 経費の増加	競争の激化
4位	人手不足	人件費以外の 経費の増加	人件費以外の 経費の増加	競争の激化	人件費以外の 経費の増加
5位	工場・機械の 老朽化	人件費の増加	人件費の増加	人件費の増加	下請の確保難

調査員・調査企業のコメント (平成29年3月調査)

【製造業】

- ・当面の加工原料については調達済みであるが、ロシアの水揚動向について明確な情報が入ってこない状況であり、他産地の原料の取扱いについても検討を進めている。この場合、仕入価格については高くなることも想定されるため、手持ちの製品とプールしながら価格設定を行っていく方針。(水産加工)
- ・価格競争力については一定程度維持は可能であり、販路開拓も積極的に行っていく考え。(水産加工)
- ・総じて原料不足から仕入高値で推移。しかしながら、販売価格への価格転嫁ができ、仕入高を吸収し利幅は確保されている。(水産加工)
- ・前浜の助宗は、前年対比50%以下の厳しい状況。原魚価格も高値推移。(水産加工)
- ・助宗が落ち込む反面、タラは比較的良好、価格帯も安定していた。(水産加工)
- ・秋鮭の記録的な不漁、冬場も水揚げ低迷しており安定した原料の確保が課題。また従業員も高齢化が進んでおり人材の確保も課題である。(水産加工)
- ・今年のコナギ漁も昨年比では価格も落ち着いているが、海外需要の低迷から玉冷の需要が低く、工場の稼働は低迷。(水産加工)
- ・天候不順により原材料価格高騰。十勝地区は特に被害を受けている。(食品一般加工)
- ・前浜物の水揚少なく、取引先の稼働が低調。現在、雇用調整にて工場稼働停止。春先からは建設会社や以西船も動き出すがサンマ漁への依存度が変わらず高い状況。(木材)
- ・前期比較で円高進み、原材料仕入れ単価上昇。収益を圧迫している。(出版・印刷)
- ・業界的に減収傾向も、新規事業開始し需要減をカバーしている。(出版・印刷)

【卸売業】

- ・水揚不漁に伴う魚価高により、仕入価格負担があり、製品価格の値上げに踏切る。(水産物)
- ・紅鮭・時鮭は品不足の状況が続いており、販売先からの強い引き合いが期待される。(水産物)
- ・単価高騰してるものの、販管費の見直しにより収益維持。(水産物)
- ・主力の助宗水揚量が前年比50%割れの厳しい状況。薄利多売の「量」での商売が立ち行かなくなっている。(水産物)
- ・市内店は漁業者の動き鈍く、売上減少。しかしながら、札幌等の市外店にてカバーしている。(材料・資材・用品)
- ・卸売り価格は高騰している。東京オリンピックまでは高止まり推移する見込みがあり、収益環境改善されている。(家畜)
- ・販売価格高騰も、同様に仕入価格も高値で収益性に恩恵なし。(家畜)

【小売業】

- ・大手同業者の出店が予定されており、来期以降減収の予想。不動産投資等検討している。(衣料品)
- ・市況低迷により、顧客の購買意欲に影響しており、売上・利益共に減少している。(衣料品)
- ・漁業関連の衰退から売上減も、防寒具の取扱いも認知され、ロシア人の購入も増えている。(衣料品)
- ・大型店との価格競争等もあり厳しい状況。(衣料品)
- ・人員確保のため、人件費負担増加傾向。(飲食料品)
- ・地域柄、漁業関係者が多くアルバイト・パートスタッフの確保に苦慮。(飲食料品)
- ・閑散期(昆布漁業者の出稼ぎ多い)であり、売上減少。6月から始まる昆布漁の豊漁に期待。(飲食料品)

調査員・調査企業のコメント (平成29年3月調査)

- ・市内消費低迷・競合店との低価格競争が激しい。集客力も減少している状況。(飲食料品)
- ・他店で扱っていない商品の取扱を実施し、集客力維持に努めている。(飲食料品)
- ・電子マネーの取扱開始。(飲食料品)
- ・LINEでの広告開始。(飲食料品)
- ・車両販売を行っており、好評。市内景気冷え込みから厳しい経営環境ではあるが、知名度高い弁当販売含め、様々なサービスを行っていく方針。(飲食料品)
- ・大手ドラッグストアが近隣にオープンして5ヶ月経過するが売上が大きく減少するなどの声は少ない。(飲食料品)
- ・人口減の影響あり、全てが不況になり高値売りがやりにくい。(飲食料品)
- ・今期のホタテ水揚げは前年比より減少、原料確保に苦慮。(飲食料品)
- ・従業員採用行うも、今後も従業員確保が課題。(飲食店)
- ・1～3月は宴会等も少なく、昼の食事中心での稼働。6月より昆布漁解禁、豊漁による昼食弁当等売上増加を期待。一部法要等もあり今後増加へ営業注力中。(飲食店)
- ・前年に比べて荒天が少なく、交通の流れが良い。それにともない個人消費もよい実感が得られている。(飲食店)
- ・消費増税を控えており新車購買意欲高い。(自動車・自転車)
- ・競争は激しく、売上は減少傾向にある。出張サービス等、個人先に注力。(家電)
- ・業況は安定。一定の固定客有している。人材確保が課題。(医療品・化粧品)
- ・近隣大型店への消費流出は変わらず、人口減もあり売上確保に苦慮。(書籍・文具)
- ・外食やコンビニ等増加から自炊が減少しており、売上減少傾向。(燃料)
- ・指定ジャージを確保できなかったため、売上減少。(スポーツ・娯楽用品)
- ・人口減少による売上減少をセール強化など様々な案を講じ、カバー。(カメラ・時計・メガネ・貴金属)
- ・一定の期間、使える商品を扱う業種であり、入替の時期によって波がある。(カメラ・時計・メガネ・貴金属)
- ・年明けより水揚げが減少。人口減による街の閉塞を感じており、売上も減少している。(建材・金物・DIY)
- ・店頭販売がまったく良くない。魚が採れないかと推測する。(全般)

【サービス業】

- ・人手不足により残業増加。若い職員の定着がうまくいかない。(旅館・ホテル)
- ・冬場の閑散期であるが、地熱調査団の長期宿泊があり厳しい環境ながら集客が図れた。(旅館・ホテル)
- ・人口減少や利用客の高齢により、売上は減少傾向。(洗濯・理美容・浴場)
- ・車検代、修理代を支払えない顧客が増加しており売掛金回収方法を模索している。(自動車整備)
- ・整備受注・販売の取扱減少。取引先は漁業関連業者が多く、水産業界低迷により、整備を控えている傾向があると分析。(自動車整備)
- ・地元産業である漁業者の水揚げ不振から売掛金回収の長期化が懸念。(自動車整備)
- ・オホーツク地区の取引先の流水被害が少なく、プロペラ修理の受注減少傾向。取引先は道内を一円であるため、収益性についての影響は少ない。(船舶関連修理)
- ・土木工事発注減から減収を予想も、燃料費等経費圧縮から増益。(運輸・旅客運送)
- ・燃料価格高騰による収益性の圧迫。(運輸・旅客運送)
- ・助宗の水揚げ不振からトラック輸送の需要が減少。(運輸・旅客運送)
- ・冬の観光船需要は増加。特に外国人観光客が増えている。(運輸・旅客運送)
- ・出産を終えた女性職員の再雇用を積極的に実施し、人手不足を解消する。(その他)

【建設業】

- ・消費増税を控え、住宅新築相談件数は前年より増加している。土地の確保に苦戦している。(建築工事)
- ・新築工事の受注が少なく、リフォーム主体の稼働。売上高は年次減少傾向である。(建築工事)
- ・新築工事は大手メーカーのコストパフォーマンスに苦慮している。(建築工事)
- ・羅臼中学校の建替工事の下請けがあり、建替工事に伴う効果が期待できる。(建築工事)
- ・新築工事は少ない。一方修繕工事は前年並みに推移するが、多忙期に対応できるだけの職人を抱えておらず、受注を受けたくても断らざるを得ない状況もある。(建築工事)
- ・促進税制活用により設備投資実施。畜産クラスター事業により、この先2年程度は受注状況良好の見込み。(土木工事)
- ・公共工事受注増加から増収増益。(土木工事)
- ・従業員の高齢化が進んでおり、人材の確保が課題であるが経験や資格を有する業種でもあり長期的な目線で育成も必要である。(土木工事)

第108回釧路地区小売業景気動向調査

29年1~3月期実績・29年4~6月期見通し

釧路地区小売業総合

～売上、収益DIともに依然低調～



DIの推移	売上DI			収益DI		
	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し
総合	△32.6	△23.9	△12.5	△19.1	△22.7	△ 9.1
釧路市	△39.4	△ 6.1	+ 3.0	△ 9.1	△ 6.1	± 0.0
釧路市音別町	± 0.0	± 0.0	△33.3	+11.1	± 0.0	± 0.0
釧路町	△50.0	△22.2	+11.1	△33.3	△22.2	+11.1
白糠町	△66.7	△33.3	△25.0	△66.7	△33.3	△16.7
厚岸町	△42.1	△61.1	△33.3	△42.1	△50.0	△27.8
浜中町	△50.0	± 0.0	△16.7	△50.0	△33.3	△16.7
標茶町	+42.9	△28.6	△28.6	+28.6	△14.3	△14.3

実績TOPICS

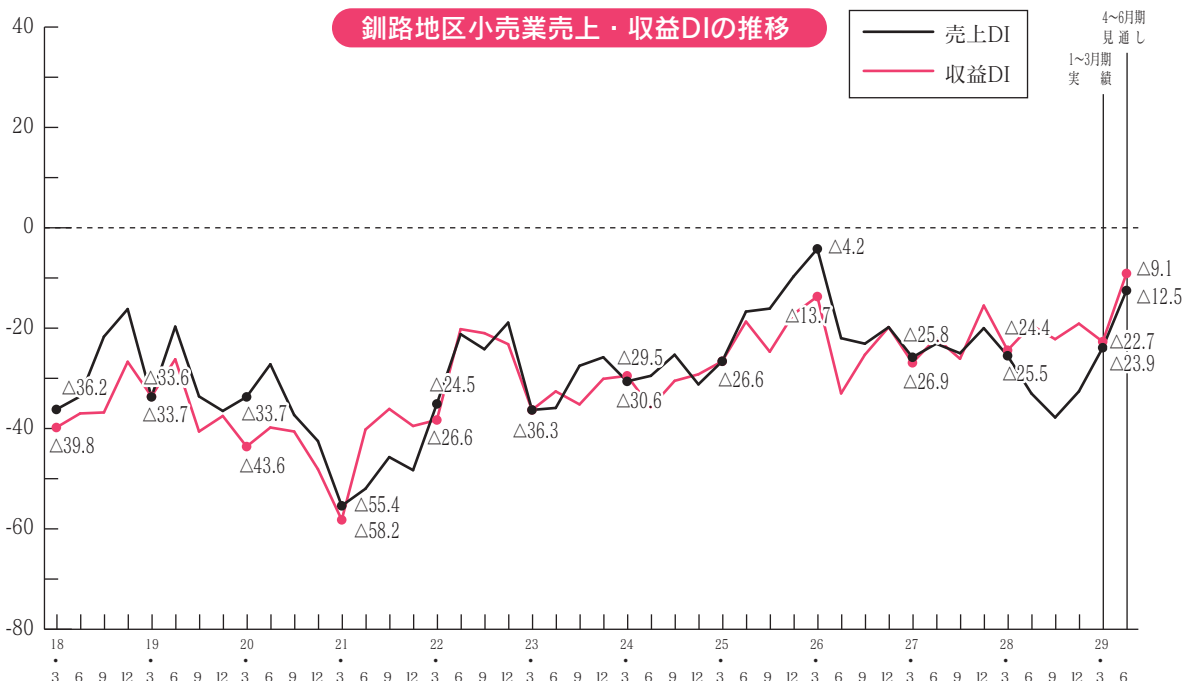
- 釧路市、釧路町、白糠町、浜中町は売上・収益DIともにマイナス幅を縮小。
- 厚岸町は売上・収益DIともにマイナス幅を拡大。
- 標茶町は売上・収益DIともにマイナスへ転じ、景気は低調。

見通しTOPICS

- 地区別全体では売上・収益DIともに今期比改善の見通し。
- 釧路町は売上・収益DIともにプラスへ転じる見通し。
- 白糠町、厚岸町は売上・収益DIともにマイナス幅を縮小する見通しとなるも依然低調。

1~3月釧路小売業地区別特徴

- 標茶町ではポイント等を活用した年末商戦の反動により、消費が落ち着き、売上・収益DIともにプラスからマイナスへ転じ、景況感は悪化しています。
- JRの復旧等交通網の改善により、人の流れが円滑になり、釧路市や白糠町を中心に、景況感はやや持ち直していますが、音別町を除き、売上・収益DIともにマイナス域にあり、依然景気は低調となっています。
- 経営上の問題点は、どの地区においても「売上の停滞・減少」や「競争の激化」が上位を占め、釧路管内小売業の環境は厳しい状況が続いています。



釧路地区小売業総合

DIの推移	売上DI			収益DI		
	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し	10~12月期実績	1~3月期実績	4~6月期見通し
総合	△32.6	△23.9	△12.5	△19.1	△22.7	△9.1
衣料品	△57.1	△71.4	△85.7	△57.1	△71.4	△85.7
食料品計	△18.9	△27.3	△ 3.0	△ 2.7	△30.3	+ 3.0
(酒・タバコ・米)	△28.6	△50.0	△20.0	△28.6	△80.0	△20.0
(コンビニ)	+11.1	△25.0	+25.0	+11.1	△25.0	+25.0
(スーパー)	△40.0	△25.0	△50.0	± 0.0	+25.0	± 0.0
(菓子・パン)	± 0.0	+33.3	+16.7	± 0.0	± 0.0	+33.3
(その他総合食品)	△40.0	△44.4	+11.1	± 0.0	△22.2	± 0.0
家具・仏具	± 0.0	± 0.0	± 0.0	± 0.0	± 0.0	± 0.0
家電・OA機器	△85.7	△25.0	△12.5	△71.4	△12.5	△12.5
医薬品・化粧品	± 0.0	△40.0	± 0.0	± 0.0	△20.0	± 0.0
書籍・文具	△25.0	△50.0	△25.0	△25.0	△50.0	△50.0
玩具・スポーツ靴・カバン	△66.7	△33.3	△33.3	△66.7	△33.3	△33.3
カネ・時計・貴金属	△100.0	+100.0	± 0.0	△100.0	+50.0	± 0.0
金物・DIYカー用品・燃料	△37.5	△17.6	△ 5.9	± 0.0	△ 5.9	+ 5.9
贈答・花・茶	△25.0	+20.0	± 0.0	△50.0	± 0.0	± 0.0

実績TOPICS

- 衣料品は前期に続き低調。食料品計はコンビニや酒・タバコ・米の悪化を要因に売上・収益DIともに前期比悪化。
- 家電・OA機器は売上・収益DI大幅改善するも依然低調。
- 医薬品・化粧品、書籍・文具は売上・収益DIともに前期比悪化。

見通しTOPICS

- 今期マイナスへ転じたコンビニやその他総合食品の見通しは改善され、食料品計の売上・収益DIは大幅改善の見通し。
- 衣料品は低調な今期から売上・収益DIともにマイナス幅を拡大する見通し。
- 金物・DIY・カー用品・燃料は収益DIがプラスへ転じる見通し。

1~3月釧路小売業業種別特徴

- 大型店やネット通販、宅配と販売方法の多様化から競争が激化し、単価や購入数の減少等、厳しい経営環境となり、衣料品を中心に景況感は低調に推移しています。
- 主要魚種の不漁や農作物の価格高騰を背景に、食料品計の景況感も低調に推移しています。
- 見通しとしては、観光需要の増加や、連休での消費拡大を見込み、食料品や金物・DIY・カー用品・燃料を中心に景況感はやや改善する見通しとなっています。

経営上の問題点 (平成29年3月調査)

	小売業全体	釧路市	釧路町	白糠町
1位	売上の停滞・減少	競争の激化	売上の停滞・減少	売上の停滞・減少
2位	競争の激化	売上の停滞・減少	人手不足	競争の激化
3位	人手不足	人手不足	人件費の増加	販売商品の不足
4位	人件費以外の経費の増加	人件費以外の経費の増加	競争の激化	人手不足
5位	人件費の増加	販売商品の高騰	人件費以外の経費の増加	人件費の増加

	音別町	厚岸町	浜中町	標茶町
1位	人手不足	売上の停滞・減少	売上の停滞・減少	売上の停滞・減少
2位	競争の激化	競争の激化	競争の激化	競争の激化
3位	売上の停滞・減少	販売先からの値下げ要請	その他	販売商品の不足
4位	人件費の増加	代金回収の悪化	人件費の増加	人件費以外の経費の増加
5位	店舗の狭小・老朽化	店舗の狭小・老朽化	人手不足	人手不足

調査員・調査企業のコメント (平成29年3月調査)

釧路市・釧路町

- 顧客獲得への工夫が足りず、既往顧客の高齢化から販売数量減少。(衣料品)
- タバコからアイコスへの切替者が増加しており、徐々にアイコス対応商品の仕入れを増やしている。葉巻・パイプタバコの愛用者はアイコスを敬遠している。(酒・タバコ・米)
- コンビニや大型スーパーで購入するケース多く、依然競争は激しい。今年4月から和菓子店と共同で米とカステラの贈答品セットを売出し、売上増加を図る。(酒・タバコ・米)
- 賃金上昇による負担増加。(コンビニ)
- 競争激化から撤退。人材育成が課題。(菓子・パン・ケーキ)
- 原材料高騰による経費削減、販売値への転嫁。(菓子・パン・ケーキ)
- 小麦値段に大きな変動はなし。在庫管理の徹底をはかりたい。(菓子・パン・ケーキ)
- 例年より積雪量が多かったことから客足が鈍くなりがちであり、例年と比較し冬期の売上が落ち込んでいる。(その他(総合食品など))
- 売上は右肩上りの予想。収益改善に注力(販売価格交渉)。(その他(総合食品など))
- 原材料の減少(天候に左右されてしまう)。(その他(総合食品など))
- 材料費の値上がりが大きく収益確保は難しいことから、29年6月にメニューの価格設定を見直す予定。(セットメニュー100円、単品50円値上げ) (その他(総合食品など))
- 今後、顧客の節約志向による売上減少が懸念される。(近隣の大手量販店との競合) (家具・仏具)
- ネット通販等の影響で大変厳しい状況。昨年、イオン昭和店での事件により、イオン釧路店の客数が増加。食品の売上は増加傾向にある。(家具・仏具)
- 量販店との競合激しいも、量販店にはない親身な対応、アフター訪問を強化し、展示会等も集客を図れるよう工夫していきたい。(家電・OA)
- エコ家電の営業強化。エコ家電に換えると冷蔵庫72%、照明器具80%、テレビ62%、エアコン11%の電力削減に繋がる旨を積極提案していく。(家電・OA)
- 家電販売は減少傾向にあるが、利益率高い設備工事中心に移動している。(家電・OA)
- 調剤報酬改定等に左右されるも、調剤報酬に影響されない漢方薬に精通している。健康を意識した高齢者に人気があり来店客への提案を強化予定。(医薬品・化粧品)
- 依然として大型量販店の影響あり競争激しいが、春先の人事異動に向け売上増加。(書籍・文具)
- 大型スポーツ店では対応出来ないオーダー製の商品販売に力を入れており、売上維持を図りたい。(玩具・スポーツ・自転車)
- マイカーのドレスアップや部品に興味・関心のある若年層が回復傾向にある。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- 就職内定者や新年度にあたって車入替を行う人の需要が増加しており、繁忙期を迎えている。展示会では軽自動車の割合を増やしている。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- 仕入れに係る運賃値上げが収益性悪化に繋がっている。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- 顧客に変化なし。現状維持に注力。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- 人手不足だが、特に業況に変化なし。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- 低燃費車の増加、人口減少等懸念材料はあるが、車は必需品であり、冬には灯油が必要不可欠である地域から極端に売上数量が変化することは現在のところなし。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- ネット販売、量販店との価格競争にて環境厳しいが取扱商品増加にて増収推移。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- のりの種類によっては原価高騰しているが、販売先との価格交渉できており、売上、収益ともに安定。(贈答・生花・お茶)

浜中町・厚岸町・標茶町・白糠町・釧路市音別町

- 今後も売上減少の見通し。(衣料品)
- 原油価格高騰の影響から生地の値段が高騰している。(衣料品)
- 購買層の高齢化による消費意欲の低下を感じる。(衣料品)
- 主産業の漁業が不漁でいわゆる「贅沢品」への支出が見送られている情勢です。(衣料品)
- タクシー営業が夜9時になって以降、居酒屋・スナックに対する酒販売が減少している。(酒・タバコ・米)
- 漁業が振るわず出稼ぎなどに行っているため、消費減少の要因になっている。(酒・タバコ・米)
- 店内調理を導入した結果、客足が若干増加した。(コンビニ)
- 配送トラックの運転手不足により、配送体制が厳しくなっている。(コンビニ)
- 国道38号線沿いの店舗は高速延伸後の売上げ落ち込みに比べ落ち込み幅は幾らか小さくなっているが、元の売上げ回復はかなり厳しい。(コンビニ)
- 若い世代の集客が課題。(スーパー)
- 売上減少に歯止めをかける取組み模索中。(スーパー)
- 当社オリジナルの弁当やパン、菓子等にて差別化を図っている。(スーパー)
- 町内での買い物客の減少、釧路・中標津への顧客流出により、売上増加には至っていない。(スーパー)
- 顧客層の高齢化もあり固定客も減少傾向。(菓子・パン・ケーキ)
- 人口減少に伴う消費減少が予想される。(菓子・パン・ケーキ)
- 不漁による仕入れ値高騰が痛手。(その他(総合食品など))
- 来店客減少を実感。今後仕入れ値高騰した場合の対応を模索中。(その他(総合食品など))
- ニシンの売行き好調。完全予約制でサンマの干物を販売しており人気高い。(その他(総合食品など))
- 消防署移設工事やウイスキー工場に自販機設置。売行きは好調。(その他(総合食品など))
- コマイ、ニシン、カニの昨年獲れていたものが今年は振るわず、減収の要因になっている。(その他(総合食品など))
- 引越しシーズンであるが、近隣の大型店に顧客は流出。売上増加には至っていない。(家具・仏具)
- イベント実施も集客図れず苦戦。(家電・OA)
- リフォーム関係の受注は一定量確保。家電は釧路などの量販店で買う人が増加している。(家電・OA)
- 売上は横ばい状態。(医薬品・化粧品)
- 町内競合とどう差をつけるかが課題。(医薬品・化粧品)
- 病院へ薬品の販売を行っている。ドラッグストアにない商品が置かれ差別化を図っている。(医薬品・化粧品)
- 入学シーズンのため、ジャージや教科書、文房具の売上はやや増加しているものの、数年前より総売上は減少傾向にある。(書籍・文具)
- 貴金属の売上不振。(カメラ・時計・メガネ・貴金属)
- 行事が増える年末から4月末まではいいが、夏から秋の売上停滞が課題。人口の減少(子供の減少)も年々影響あり。(カメラ・時計・メガネ・貴金属)
- 集客アップに向けた取組み考え中。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- 顧客層の高齢化により売行きは落ち込んでいる。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- 原油価格高騰から販売量落ち込むが業況に変化なし。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- 年明け前には雪も多く、スコップ・除雪ダンプ等の売行きも好調であったが、年明け以降、雪少なく、除雪関連品の売行きは低調。(金物・DIY・自動車・カー用品・燃料)
- 高齢化が進み、いろいろな面で大変になってきている。(贈答・生花・お茶)
- 葬儀関係の生花受注のほか固定客も相応にあり、業況は安定。(贈答・生花・お茶)

調査企業

調査要領

- ①調査地域 根室管内1市4町（根室市 中標津町 羅臼町 標津町 別海町）
釧路管内1市5町（釧路市 釧路市音別町 釧路町 白糠町 厚岸町 浜中町 標茶町）
- ②調査期間 平成29年3月9日～3月17日
平成29年1月～3月期の景気の現状と平成29年4月～6月期の見通しを調査したものです。
- ③調査方法 面接ききとり方法及び郵送方法
- ④分析方法 DI（増加－減少のウェイト）
- ⑤調査対象企業 根室管内景気動向調査：173社
うち有効回答143社、回収率82.7%
釧路地区小売業景気動向調査：96社
うち有効回答88社、回収率91.7%

《根室管内景気動向調査》

	調査対象 企業数	地 区 別		業 種 別
		根 室 市	管 内 4 町	
(1) 製 造 業	21社	8社	13社	水産加工9、木材5、出版・印刷4、造船1、 農畜産加工2
(2) 卸 売 業	17社	13社	4社	水産物卸11、家畜卸2、食品2、材料・資材・用品2
(3) 小 売 業	66社	24社	42社	衣料品5、飲食品16、飲食店8、家具1、家電7、 医薬品・化粧品3、書籍・文具4、建材・金物・DIY3、 燃料10、カメラ・時計・貴金属2、スポーツ・娯楽用品4、 自動車・自転車3
(4) サービス業	40社	16社	24社	旅館・ホテル7、洗濯・理美容・浴場5、 自動車整備9、運輸12、医療1、船舶修理1、 その他5
(5) 建 設 業	29社	8社	21社	建築13、土木9、設備5、その他2

《釧路地区小売業景気動向調査》

<規模別>

大 型 店	5社
大型店以外の小売業	91社

<地区別>

釧 路 市	39社
うち橋北地区	9社
鉄北地区	10社
愛国地区	2社
鳥取・大楽毛地区	8社
橋南地区	3社
春採・桜ヶ岡地区	7社
釧路市音別町	3社
釧路町	10社
白糠町	12社
厚岸町	18社
浜中町	6社
標茶町	8社

<業種別>

衣 料 品	7社
食 料 品	36社
うち酒・タバコ・米	7社
コ ン ビ ニ	8社
ス ー パ ー	5社
菓子・パン・ケーキ	6社
その他(総合食品など)	10社
家 具 ・ 仏 具	2社
家 電 ・ O A	8社
医 薬 品 ・ 化 粧 品	5社
書 籍 ・ 文 具	4社
玩具・スポーツ・自転車	4社
カメラ・時計・メガネ・貴金属	2社
金物・DIY・カー用品	16社
靴 ・ カ バ ン	2社
贈 答 ・ 生 花 ・ お 茶	5社
大 型 店	5社

☆DI（デフュージョン・インデックス）の説明

景気の拡がり具合をとらえる指数。「増加」回答から「減少」回答を差し引きした結果が全体に占める割合を示したものです。DIは景気の向きを表し、DI値が高いほど景気に勢いがあり、反対に低いほど景気の停滞感が強いこととなります。

(例) この場合のDI値は	(増加)	(減少)	
	40.0	20.0 = +20.0となります。	
	増 加	不 変	減 少
	40.0%	40.0%	20.0%

◎本調査での売上DI・収益DIは、前年同期で比較したものです。